

## 3月の銅マーケットレポート及び4月の見通し(上)

## 橋本アルミ(株) 橋本健一郎氏



## 予想レンジ

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| LMEセツル | 4600-5000ドル           |
|        | ♣ 変わらず                |
| 建値     | 550-620円              |
|        | ♣ 変わらず                |
| 為替     | 109~115円<br>(1か月間TTM) |
|        | ☂ 円高                  |

## 輸出

財務省貿易統計によると輸出は前年比で電気銅が+36.4%の5万8604t、スクラップが+96.4%の1万8715t。

## 輸入

輸入は 電気銅が前年比-68.2%の1859t、スクラップ +39.8%の8423t

## ■前月の国内指標

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば前年比-0.1%の6万5760t

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)

銅電線出荷量は、前年比-2.6%の5万8300tであった。

## ■概況

## 【自動車生産】

2月の四輪車生産台数は766,804台で、前年同月の823,864台に比べて57,060台・6.9%の減少となり、3ヵ月連続で前年同月を下回った。

2月の車種別生産台数と前年同月比は次のとおり。

乗用車-651,663台で46,804台・6.7%の減少となり、3ヵ月連続のマイナス。このうち普通車は393,694台で5,369台・1.3%の減少、小型四輪車は127,330台で12,459台・8.9%の減少、軽四輪車は130,639台で28,976台・18.2%の減少。

トラック-105,578台で8,307台・7.3%の減少となり、10ヵ月連続のマイナス。このうち普通車は45,991台で4,817台・9.5%の減少、小型四輪車は27,513台で2,409台・8.1%の減少。軽四輪車は32,074台で1,081台・3.3%の減少。

バス-9,563台で1,949台・16.9%の減少となり、3ヵ月連続のマイナス。このうち大型は1,001台で19台・1.9%の増加、小型は8,562台で1,968台・18.7%の減少。

2月の国内需要は451,330台で、前年同月比6.4%の減少であった。(うち乗用車382,116台で前年同月比7.5%の減少、トラック67,852台で同0.1%の減少、バス1,362台で同37.4%の増加。)

輸出は前年同月比1.0%の増加。(実績)

## 【自動車販売】

3月の国内自動車販売台数(軽は除く)は40万4813台で前年比-3.2%。

2ヵ月連続マイナス

|     |       |
|-----|-------|
| 乗用車 | -2.7% |
| 貨物  | -6.3% |
| バス  | +5.1% |

## 【住宅着工数】

平成28年2月の住宅着工戸数は72,831戸で、前年同月比で7.8%増となった。また、季節調整済年率換算値では97.4万戸(前月比11.6%増)となった。

## ■概況

前半は、中国人民銀行が全銀行への預金準備率を50ベースポイント引き下げると発表した事からの元安懸念、中国の2月の貿易統計が予測より大幅悪化、輸出 -25.4%

輸入 -13.8%とロイターの予測 輸出 -12.5% 輸入 -13.8%を大幅下回るなどのマイナス材料もあったが、G20後に景気対策として中国が5ヵ年計画では交通網に年34兆円超とリーマンショック以降の50兆円以上の投資額が計画されること。中国証券監督管理委員会の新主席が株価支援策の持続を表明したことなどを受けてUP。

3月15日時点で4994ドル(セツル)と月初価格より289ドルUPの前半締めとなった。

後半は、全人代閉幕に際し 李克強首相が中国経済は困窮してるもののハードランディングは絶対にならないとの発言やFRBイエレン議長、中国の景気減速および原油価格の急落による世界経済及び金融の不透明感が米景気のリスクとなり、緩やかな利上げのみが正当化されるとハト派の発言をしたことなどのプラス材料もあったが、セントルイス連銀のブロード総裁が4月の利上げの可能性を示唆したこと、ベルギーのテロ爆発事故から逃避買いでドルが急伸。株価、原油とも急落などのマイナス材料を嫌気しDOWN

4月6日現在、後半スタート価格から169ドルDOWNの4776ドル。 建値59万円のスタートとなった。

## ■前月の経済指標

## ◆月間のドル/円レート (TTS)

113.65 → 113.38 (円)

## ◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比-6.9%の76万6804台であった。

## ◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前年比-3.2%の40万4813台。

## ◆新設住宅着工戸数

国土交通省統計によると新設住宅着工戸数は前年比+7.8%の7万2831戸であった。

## ◆貿易関連指標

・ 利用関係別にみると、実数値では、前年同月比で持家、貸家、分譲住宅ともに増となった。また、季節調整値についても前月比で持家、貸家、分譲住宅ともに増となった。

・ 平成26年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響からの持ち直しが見られた後、こここのところ横ばいの傾向となっていたが、2月は前年同月比で2か月連続の増加となった。

・ 引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

(持家)

前年同月比では3か月ぶりの増加(前年同月比0.8%増、季節調整値の前月比では5.6%増)。

(貸家)

前年同月比では4か月連続の増加(前年同月比12.5%増、季節調整値の前月比では10.9%増)。

(分譲住宅)

前年同月比では3か月ぶりの増加(前年同月比9.6%増、季節調整値の前月比では15.0%増)。

(分譲マンション)

前年同月比では6か月ぶりの増加(前年同月比9.9%増)。

(分譲一戸建住宅)

前年同月比では4か月連続の増加(前年同月比10.1%増)。

※後半は明日以降の紙面で掲載させていただきます。

## 三菱マテリアル4月後半の山行故銅買値は36万円。

三菱マテリアルは、2016年4月後半の山行故銅買値(99%ベース)を発表し、前回比2万円安の36万円となった。

これを受けて黄銅山送りは1万円程度値下がりした。

直近6か月の買値は次の通り。

・ 2015年

11月 前半=46万円、後半=44万円

12月 前半=40万円、後半=39万円

・ 2016年

1月 前半=40万円、後半=34万円

2月 前半=39万円、後半=34万円

3月 前半=36万円、後半=40万円

4月 前半=38万円、後半=36万円

## 錫建値は50円引き上げの3,250円、 月内建値平均は3,250円。

三菱マテリアルは19日、高純度錫地金(99.99% =フォーナイン)の販売価格を50円引き上げの3,250円と発表し、同日より適用した。月内建値平均は3,250円。

直近6か月の価格推移は次の通り。(円/キロ、カッコ内は平均)

・ 2015年

11月=3,250(2) 3,200(10) 平均3,210円

12月=3,250(1) 3,150(18) 平均3,220円

・ 2016年

1月=3,150(4) 3,050(12) 2,950(19)

平均3,030円

2月=3,200(1) 平均3,200円

3月=3,250(1) 3,350(8) 平均3,330円

4月=3,300(1) 3,200(11) 3,250(19)

平均3,250円

## フジクラの自己株式取得状況 累計573株を東証で市場買付

フジクラによると、自己株式取得状況について、今年3月1日から同31日までに取得した株式の総数が433万9000株で、取得総額が24億1901万6036円となった。取得方法はいずれも東京証券取引所における市場買付によるもの。

平成28年2月22日の取締役会での決議事項によると、取得株式の総数の上限を1000万株(自己株式を除く発行済株式総数に対する割合3.27%)、取得価額の総額の上限を65億円とし、取得期間は平成28年2月23日から4月28日まで。これに基づき、2月23日から3月31日までに取得した自己株式の累計は573株、取得価額総額31億3593万1円となる。

## 鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造  
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314

電話 0774 - 43 - 6700 代表